



# 志津南

## 11月号 news

志津南ホームページ  
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (9/30 現在)  
世帯数 2,341 総人口 6,387 人

発行  
志津南学区まちづくり協議会  
Tel(fax) 077-563-6206  
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

### 初の学区全体防災訓練

## 発電機始動や避難所生活など

### 10か所にブース設け順次体験

先月の台風19号を持ち出すまでもなく、近年、自然災害の被害規模が大きくなって来ています。夏まつりの中止や運動会延期など、私たちも台風などの天候の影響を受けましたが、大きな被害には至っていません。が、一連の大災害、特に停電・断水、避難、食料不安などへの一般市民の関心は一段と高まっています。志津南学区まちづくり協議会(花澤仁左衛門会長)が開催した初の学区全体防災フェスティバルでも、集会所・自治会館に新しく設置した発電機や照明器具取り扱い訓練など、新しい試みを導入しました。学区全体の防災訓練と位置付けられた今回の防災フェスティバルには大きな意義があるといえます。

### 避難所を想定しての段ボールベッドづくり



初めての学区全体での防災訓練として、各町内会(自治会) 自主防災会や地域協働合校推進委員会との合同で行いました。前日は雨模様でしたが、当日は好天に恵まれ220人が参加。会長挨拶の後、6班に分かれた参加者が10個所のブースを順次体験しました。特に今回は、停電対策として集会所や会館に配備するために新しく購入した6台の発電機はじめ照明器具の取り扱い説明とエンジンの始動体験を重点としました。消火器を使っての初期消火(的当て体験)、避難するときの煙中体験、避

志津南学区まちづくり協議会(花澤仁左衛門会長)は10月20日、若草中央児童公園一帯で、防災フェスティバルを開催しました。従来は避難所単位で行っていた訓練を、志津南学区まちづくり協議会発足以来はじ



新しく購入した発電機の始動体験

難所での簡易トイレ、段ボールベッドの組み立て・展示、震度体験できる起震車、子どもを対象にした防災〇×クイズなど盛り沢山の内容を体験しました。台風で被災した関東・東北地方の悲惨な状況は今もニュースで報道されています。特に長期にわたる停電は日常生活に想像以上の大きな支障をきたしている現状から、発電機には関心が

集まり、エンジンのかけ方など質問が飛び交いました。炊き出しの豚汁や「みずかがみ」のおにぎりの試食はじめ特別企画の「たこ焼き」コーナーも人気があります。今回の防災フェスティバルには、草津市危機管理課、南消防署、西消防署、草津市消防団第二分団、町内会(自治会)役員はじめボランティア有志など多くの方々にご協力いただきました。(自主防災代表 白瀧明)

### 岡本西の伯母川にも災害の備えを

今にも川に落ちそうな松の木



今年日本列島各地で、大水害による悲惨な被害が連日報道されました。岡本西地区を流れる伯母川の現状も決して安心してはお

れません。上流から下流へ歩いてみると、全ての流域で川底に土や砂が堆積し、葦や雑木が繁茂しています。台風で倒れた松の木が枯れて、堤防の上から今にも川に落ちそうになっています。馬場町の工業団地とダイキンの雨水が合流する場所で、コンクリートの堤防に亀裂ができ、数メートルにわたり陥没、川面へ倒れそうになっています。

このような現状で、洪水による被害はまだ発生していないのは、幸いといしか言いようがありません。草津市から発行された災害マップには、この場所が若草・岡本西地区で最大水害危険地区と示しています。各地の被害を教訓に、私たちも災害に対する備えをしておく必要があると思われます。(岡本町西町内会)

### 地域防犯を呼びかけ



交通防犯委員会(金智予委員長)は10月19日、スターグリーンヒル店前とフレンドマート追分店前で地域の防犯や交通安全を呼びか

マイナンバー申請ひるばひるは、次の要領で「マイナンバーカード申請受付ひるば」を開催します。

▽日時 11月28日(木) 10時~11時  
▽場所 センター大会議室  
予約、持ち物、費用は不要です。詳しくは、センターまでお問い合わせ下さい。

近年、志津南学区は世帯数も増え、子どもの数も増加しています。一方で高齢化の目立つ町内もあります。防犯力メラや防犯灯を毎年増設していますが、安全・安心のまちづくりのため、今後も啓発活動などを継続していけたらと思います。引き続き、皆様のご協力をよろしく願います。

# ゴール目指して全力疾走

スポーツの秋。各所で運動会が開かれ、子ども達の元気な歓声が響きました。



## 高穂中 熱く燃えた体育祭

高穂中学校(中瀬悟嗣校長)で9月27日、第36回体育祭が開催されました。

中瀬校長が自分の命を自分で守るため暑さ対策に気を付け日頃の成果を発揮するよう話されました。



## 9色の団旗が集まり選手宣誓

その後、9色の団旗にマスコットのたかっぱも加わり、生徒会長の大友君が「仲間を信じ楽しみましょう エイエイオー」と力強く宣誓しました。



## 元気がいちばん

保育園グラウンドで第7回運動会を行いました。雨で2週も延期されましたが、当日は秋晴れで、園長先生が「元気が一番」とエールを送りました。

子どもたちは自分の持っている力を発揮して頑張りました。

## 笑顔はじける

親子が参加しました。写真。ボンボンを持ってアンパンマンマーチに合わせて踊ったり、フラフープで体操をしたり、最後はトンネルやトランポリンやマットを使って障害物レース。一生懸命がんばってくれました。

さらにポップコーンを作ってもらい、ボンボンはじける様子にみんな興味津々。でき上がりをみんなでいただき、笑顔もはじける運動会になりました。

保育園グラウンドで第7回運動会を行いました。雨で2週も延期されましたが、当日は秋晴れで、園長先生が「元気が一番」とエールを送りました。子どもたちは自分の持っている力を発揮して頑張りました。

親子が参加しました。写真。ボンボンを持ってアンパンマンマーチに合わせて踊ったり、フラフープで体操をしたり、最後はトンネルやトランポリンやマットを使って障害物レース。一生懸命がんばってくれました。

親子が参加しました。写真。ボンボンを持ってアンパンマンマーチに合わせて踊ったり、フラフープで体操をしたり、最後はトンネルやトランポリンやマットを使って障害物レース。一生懸命がんばってくれました。

親子が参加しました。写真。ボンボンを持ってアンパンマンマーチに合わせて踊ったり、フラフープで体操をしたり、最後はトンネルやトランポリンやマットを使って障害物レース。一生懸命がんばってくれました。

## 住んでいる町を美しく…芝桜



志津南小学校(水野晃校長)の6年生児童が10月28日、志津南環境美化ボランティアの方々と一緒に、若草町内にある伯母川防災調

整池の土堤で芝桜の植え付けを行いました。写真。地域の方から調整池の設置目的や治水の現状などを教えてもらいました。子どもたちの中には、調整池の目的を知らなかった子もいたようで、真剣に話を聞いていました。

自分たちの住む町を愛する気持ちや育んだりする、よい機会となりました。

まず、さつまいもの実り方を教わり、手で土を掘り、次々とさつまいもを掘り当てます。大きいのが小さいの、丸いのが細長いのが、大きさも形も一つ一つ違い、まるで宝探しをしているように、どの子も楽しく活動することができました。

地域のみなさんのおかげで、たくさんのおさつまいもを収穫することができました。また、29日の収穫祭ではお世話になった地域のみなさんに、感謝を伝えることができました。

追分南「元気くらぶ」は10月11日、追分南会館でグルメサロン(ちらし寿司&

お吸い物)を開催しました。炊飯器6台で炊きあげた3升のごはんをすし酢と合わせ、具材を混ぜ、エビ、イクラ、刻み海苔等を飾り豪華なちらし寿司が完成。参加者31人が各自の器に盛り付け、おいしく完食しました。写真。

毎回、おいしい料理をご馳走になり、ボランティアの方々に感謝です。

学校という枠を飛び出して地域の方々と活動したことで、「自分たちの住む町のために、小学生である自分にもできることがあるんだ」ということに気付いたり、

志津南小(水野晃校長)2年生は10月21日、地域ふれあい農園でさつまいもの収穫を行いました。写真。今年も志津南学区環境美化ボランティア、民生委員の

志津南小(水野晃校長)2年生は10月21日、地域ふれあい農園でさつまいもの収穫を行いました。写真。今年も志津南学区環境美化ボランティア、民生委員の

志津南小(水野晃校長)2年生は10月21日、地域ふれあい農園でさつまいもの収穫を行いました。写真。今年も志津南学区環境美化ボランティア、民生委員の

志津南小(水野晃校長)2年生は10月21日、地域ふれあい農園でさつまいもの収穫を行いました。写真。今年も志津南学区環境美化ボランティア、民生委員の

志津南小(水野晃校長)2年生は10月21日、地域ふれあい農園でさつまいもの収穫を行いました。写真。今年も志津南学区環境美化ボランティア、民生委員の

志津南小(水野晃校長)2年生は10月21日、地域ふれあい農園でさつまいもの収穫を行いました。写真。今年も志津南学区環境美化ボランティア、民生委員の

志津南小(水野晃校長)2年生は10月21日、地域ふれあい農園でさつまいもの収穫を行いました。写真。今年も志津南学区環境美化ボランティア、民生委員の



## 宝探しみたい…芋ほり

地域のみなさんのおかげで、たくさんのおさつまいもを収穫することができました。

地域のみなさんのおかげで、たくさんのおさつまいもを収穫することができました。

地域のみなさんのおかげで、たくさんのおさつまいもを収穫することができました。

地域のみなさんのおかげで、たくさんのおさつまいもを収穫することができました。

地域のみなさんのおかげで、たくさんのおさつまいもを収穫することができました。



志津南小学校(水野晃校長)の6年生児童が10月28日、志津南環境美化ボランティアの方々と一緒に、若草町内にある伯母川防災調

自分たちの住む町を愛する気持ちや育んだりする、よい機会となりました。

まず、さつまいもの実り方を教わり、手で土を掘り、次々とさつまいもを掘り当てます。大きいのが小さいの、丸いのが細長いのが、大きさも形も一つ一つ違い、まるで宝探しをしているように、どの子も楽しく活動することができました。

地域のみなさんのおかげで、たくさんのおさつまいもを収穫することができました。また、29日の収穫祭ではお世話になった地域のみなさんに、感謝を伝えることができました。

追分南「元気くらぶ」は10月11日、追分南会館でグルメサロン(ちらし寿司&

お吸い物)を開催しました。炊飯器6台で炊きあげた3升のごはんをすし酢と合わせ、具材を混ぜ、エビ、イクラ、刻み海苔等を飾り豪華なちらし寿司が完成。参加者31人が各自の器に盛り付け、おいしく完食しました。写真。

毎回、おいしい料理をご馳走になり、ボランティアの方々に感謝です。

## 野草の味力

ヤマユリ (ユリ科)

日本の美しいユリの中で最も大きな花を咲かせます。匂いやさしい白百合の、と歌われた本種は、家に飾ると強い匂いのため頭がクラクラします。

“手に取るな、やはり野に置け”は、野草だけでなく思い当たる節のある人も？

江戸時代、参勤交代参加者が、球根を土産にしたため、東日本から全国に広まったようです。球根は、きんとんや茶碗蒸しに、また天ぷらも美味。最高に贅沢な野草です。

(藤井崇弘)

試してみる方は十分に安全を確かめて下さい

# ハロウィン 楽しいね

ハロウィンもすっかり市民権を得たようです。学区内のあちこちで、かわいいおぼけやドラキュラ達が出回りました。



## 若草・岡本西子ども会

若草・岡本西子ども会(山出聡子会長)は10月26日、志津南まちづくりセンターで秋のイベントを行い、57人が集まりました。写真。



20人の生演奏を聴きました。馴染みのある曲を口ずさみ、USAのダンスで会場はとても盛り上がりました。全学年混合のかぼちゃ運びリレー、仮装投票もし、笑

出回っていて、ラフティー(三枚肉)、ソーキ(骨付きバラ肉)、ティピチ(豚足)などの煮つけがよく作られます。

## 沖縄料理



〈第8夜〉

沖縄料理といえば、皆さん何を思い浮かべますか? ゴーヤーチャンプルーですか?

家庭料理としてはゴーヤーチャンプルーの他にフーチャンプルーやソーミンチャンプルーなどがあり、また豚肉を使った料理がいろいろあります。

## ふれ合い広場

顔と歓声に包まれた時間を過ごすことができました。かがやきの丘「ふれ合い広場」(堂本直美代表)は10月31日、かがやきの丘きらり会館で乳幼児から小学生父兄を含め約80人が参加して「ハッピーハロウィン」



## おやこっこ

若草子育てグループやおやこっこクラブ(山出聡子代

いて、ボンボンとした食感が特徴です。普通沖縄そばといえはラフティーが載っています。ソーキが載ったものはソーキそばと称して、私が好きなのはこのソーキそばで、あちこちを食べ歩いていきます。

私が好きなものはこのソーキそばで、あちこちを食べ歩いていきます。



お気に入りのソーキそばを楽しむ筆者

千切りのコリにして、お気に入りのソーキそばを楽しむ筆者

お気に入りのソーキそばを楽しむ筆者

お気に入りのソーキそばを楽しむ筆者

表)は10月31日、まちづくりセンターで6組の親子が集まりハロウィンパーティーを開きました。写真。



可愛い魔女やドラキュラに扮した幼児たちはいつものごあいさつの歌や体操の後、お母

さんと一緒におやつを入れるかぼちゃの形のバッグを作りました。

またお化けのピンを倒すボーリングをして遊びました。「すごい、パーフェクトが出ました」と拍手。満面の笑顔で楽しんでいました。



みきました。写真。可愛いドレスやカボチャのお化けに扮した子どもたちは、隣接の児童遊園地で鬼ごっこや滑り台で遊んだあと、ハロウィンのお菓子をみんなでおいしくいただきました。

## みんなで町をきれいに

各町内で秋の一斉清掃が行われ、伸びた夏草や落ち葉が掃除され、町は見違えるほどきれいになりました。参加の皆さん、ありがとうございます。

## ★かがやきの丘

かがやきの丘町内会(藤原健会長)は10月20日、町内一斉清掃を実施しました。大人245人、子供88人が参加し、班単位で、南・北の両公園に加え緑地帯・遊歩道の草刈りやゴミ拾いを

実施しました。前日の雨で足元が悪い中、両公園に準備したブルーシートには大きな草の山ができて、見違えるほどきれいに なりました。写真。

前週の14日には、有志13人の「草刈隊」が、緑地帯の草刈りを実施しました。

## ★若草・岡本西

若草・岡本西地区の秋の一斉清掃が10月13日に実施されました。写真。

台風19号が心配で、天気予報をチェックしながらとなり、事前草刈りを8日から11日の間にすませたり、



する町内会もありました。当日は、予定通り約700人が東公園、西公園、中央公園、岡本西公園等に集合し、清掃を行いました。

足元不良をもとめせず、みるみるうちに刈草が集積場所のように集められました。チームワークよろしく、和気あいあい、手と足と口を動かし、瞬くうちに作業は終了しました。

次回の冬の一斉清掃は12月8日です、よろしくお願ひいたします (境美化委員長 石田治郎)

# チーズの世界、堪能



やすらぎ学級第5回講座が10月23日、志津南まちづくりセンターで開催され、学級生30人が参加しました。「チーズを美味しく楽しむ」

「実際にチーズの食べ比べをしながら、興味深いチーズの世界を学びました。講師より丁寧に解説いただき、ただ食すだけでなく、各種チーズの作り方の行程や保管方法なども学びました。」

多種類の見た目も華やかなチーズを、ゆつたりと試食・堪能



説明を聞きながらチーズの奥深さを学ぶ

## 色づく樹々の中、ウォーキング

志津南学区健康推進員連絡協議会(荒木キクエ代表)は10月26日、「秋のはつらつウォーキング」を開催しました。写真。

心配していた雨も上がり、少しひんやりしていましたが、24人の参加者がウォーキングを楽しみました。文化公園まで、色づき始めた樹々を眺め、楽しくおしゃべりしながらゆつたりウォーキング。

昼食後は、皆で懐メロを歌ったり、指遊びをしたり



し、大満足でした。また今回はお土産付きで受講生の皆さんは、とても喜んでいました。

## スカレットの舞台をウォーキング



志津南ノルディッククラブ(奥田隆三代代表)は10月19日、NHK朝ドラ「スカレット」の舞台、信楽の「陶芸の森」にウォーキングに出かけました。写真。

曇りのち小雨のち晴れのち、31人が参加しました。バスで「信楽の陶芸の森」にウォーキングに出かけました。写真。

天候でウォーキングは少し不発でしたが、道の駅「こんぜの里」で買い物も楽しみ、帰途につきました。

「貴重なお話だった。今回は学んだチーズを自分でも探

## 恒例ワンファミ開催



若草一丁目町内会(潤井康人会長)は10月6日、恒例の町内親睦行事「ワンファミ」を開催し、119人

「共助」は普段から顔馴染みである必要があり、今回「ご近所力」が一層強くなったと思います。

(二丁目副会長 澤逸郎)

したい。」との声も聞かれました。お気に入りのチーズは見つかったでしょうか?

## スズメバチ



9月28日、若草3丁目の家の庭で、スズメバチの巣が発見されました。小学校の通学路沿いで危険なため、町内会を通じてPTAに連絡が入り、急遽10月1日から4日間、通学路を一部変更しました。

この間に巣を駆除し、通学路の安全を確保しました。ご協力いただいた町内会・

## 折々の記



今夏は温暖化によるものが、記録的な猛暑が列島を襲いました。8、9月は特に暑い日が続き、後半は平年より高い状態が続いたようです。特に、9月は暑い日が続いたと思っただ方が多かったです。大阪では、最高気温35度以上の猛暑日が4日間、30度以上の真夏日が17日間となり、月の3分の2以上も「真夏」の日があったことになりました。

## 糖尿病予防の料理

志津南学区健康推進員連絡協議会(荒木キクエ代表)は、「糖尿病予防のためのパランスのよい料理講習会」を次の要領で開催します。

- ▽日時 12月17日(火) 10時~13時
- ▽場所 志津南まちづくりセンター
- ▽参加費 300円
- ▽申し込み 志津南まちづくりセンター (563) 6206
- ▽締切 12月10日(火)
- ▽持ち物 エプロン、三角巾
- ▽パソコンの駅
- ▽パソコンについての相談
- ▽11月25日(月)、12月25日(水) 13時~16時
- ▽志津南まちづくりセンター サロン

## 平凡に感謝

また、最高気温が25度未満の日(夏日ではない日)が1日だけだったようですので、つい先日まで「夏」だったことになりました。

それに加え、日本各地では、いくつもの大型台風や大雨にもみまわれました。特に、10月中旬の台風19号では、中部、関東、東北地方の広い範囲で甚大な被害を受けました。今回のこの台風は、気象庁から名前がつけられるようです。気象庁は、被害の状況等によって台風の名称を定める基準を定めており、今回の台風

このあたり前のことが決して当然に享受出来ることにはあり得ず、この平穏であることに、大変、幸福であり、日々を感謝するものです。被災地の方々の一日も早い復興と日常を取り戻されることをお祈りします。

(七転八起)